



難関資格 見事合格！！ 松永 昌己君 ～ 情報技術科 ～

情報処理技術者試験

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

応用情報技術者試験

2017年(平成29年)7月4日 火曜日



国が認定する情報処理技術者試験の中で、合格が難しい部類に入る「応用情報技術者試験」に、県内の高校生として唯一合格の快挙を果たした県立水戸工業情報技術科3年生。ITエンジニアとしての応用的な知識・技能を持っているかが問われる試験だ。「安心」というのが本音と謙遜しつつ「難しい試験なので自信になった」と胸を張る。

短時間集中、夢膨らむ

難関IT試験に合格した水戸工高3年  
 まつなが まさき  
 松永 昌己さん



高校入学から本格的にパソコンを始めた。学校の授業や長期休業中の講習会で「試験」、2年生では難関への登壇と腕を磨いてきた。1年生 苗圃とされる「基本情報技術者試験」に合格するなど、着実にステップアップ。

4月に挑戦した「応用情報技術者試験」には全国で約3万2千人が受験し、9割近くが社会人。高校生はわずかに231人で、全体の合格率は20・2%だった。当日はネットワークトラブルなどの対処法を問う記述式の問題に苦戦した。

【メモ】趣味はアニメ鑑賞。今回の合格は県内で最年少、17歳。ひたちなか市在住。(水戸支社・鈴木剛史) 〓 火曜掲載

「手応えが感じられず、駄目かと思ったと心配したが、6月に吉報が届き、胸をなで下ろした。特別な試験対策はしなかった。「好きなことなので、苦ではなかった」とし、「短時間で集中して取り組むことが重要」と勉強のこつを語る。将来の夢はシステムエンジニア。今後は大学進学に向けて受験勉強に本腰を入れる。「一口の高度化が進むサイバー犯罪を防げる技術者になりたい。志望校に入学できるより頑張りたい」と目標を掲げ、

2017年(平成29年)7月4日付 茨城新聞